

ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2017. 4.29-30

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2017 Series Round-2 / SUGO

(2017.4.29-30)

BRP Audi Mie RS3 LMS は第2戦菅生を完走で終える

バースレーシングプロジェクト【BRP】は、2017年4月29日～30日にスポーツランド菅生で開催された「スーパー耐久シリーズ第2戦 スポーツランド菅生」において、ST-TCRクラスのAudiとHONDAとの激闘を無事完走で終えました。

【4月26日(水)フリー】天候:曇り→雨 路面:DRY→WET

バースレーシングプロジェクトは、今季から新設されたST-TCRクラスに、Audi RS3 LMSを投入してレースウィーク水曜日からテスト走行を開始しました。天気はDRYからWETと変化する中、新鋭Bドライバー秋吉圭のコース攻略と、前戦もてぎでトラブルの為進める事のできなかったセットアップを進める為、チームは先発隊にて水曜日から精力的に走行を開始しました。

【4月27日(木)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

チーム本体も合流して、昨日に引き続きテスト走行を行い、車両のセットアップとドライバーのコース攻略を平行して進めていき、無事に走行を終えて予選に向けて手ごたえを感じ始めていました。

【4月28日(金)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

第2戦菅生のみCドライバー登録の山脇大輔選手が、スケジュールの関係で調整が難しい為急遽、柴田優作選手を起用して、3名のドライバーが揃ってフリー走行を走行し、様々な連携のチェックとテストを繰り返し行い、予選と決勝に向けて万全の準備を進めました。



【4月29日(土)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

公式予選がいよいよ始まりました。Aドライバーの奥村浩一選手がアタックを開始して2周目に1' 30.235の好タイムを叩き出して2番手を獲得し、続くBドライバーの秋吉圭選手も果敢にアタックをし、1' 30.351と奥村選手に続く好タイムを叩き出した所で、左のドライブシャフトが破損してコース上に車を停止させるトラブルが発生し、秋吉選手はそのまま予選を終えましたが、クラス2番手を獲得、合算で第2戦スポーツランド菅生の決勝レースはクラス2番手でAudi2台によりフロントローからのスタートとなりました。

Cドライバー柴田優作選手はドライブシャフト交換作業がCドライバー予選のセッション内に行う事ができなかった為、未出走となりました。

【第2戦スポーツランド菅生ST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:奥村 浩一 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 30.235 クラス2位

Bドライバー:秋吉 圭 コース:DRY タイヤ:スリック 1' 30.351 クラス2位

Cドライバー:柴田 優作 コース:DRY タイヤ:スリック 未出走

1位 No.4 LIQUI MOLY RS3 LMS 4' 19.264

2位 No.98 Modulo CIVIC TCR 4' 19.624

3位 No.97 Modulo CIVIC TCR 4' 21.670

4位 No.19 BRP Audi Mie RS3 LMS 4' 27.977



【4月30日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY

いよいよ3時間の決勝レースのスタートを迎えました。スタートドライバーはCドライバーの柴田優作選手が務めて、スタート時の混乱をうまく交わしながら、先頭を走行する同じAudi勢の4号車と接戦を繰り返しますが、レース序盤で4号車をオーバーテイクし首位でレースを展開します。

柴田選手は51週のロングスティントの後、Bドライバーの秋吉選手にドライバー交代を行い、交代後の時点でHONDA98号車に続き、クラス2番手を走行し、最終コーナーでの接触事故によるSCの導入の際に、交代予定時間より早めに、チェッカードライバーのAドライバーの奥村選手に交代しました。

奥村選手はゴールを目指して走行しますが、レース終盤にタイヤの消耗が激しく、タイヤ交換を余儀なくされ、ピットインをしますが、その際にミッションのエラーによりピットロードでギアが入らなくなり、大きなタイムロスもあり一時は首位も走行するも、結果はクラス4位の完走でレースを終えました。

【第2戦スポーツランド菅生ST-TCRクラス決勝レース結果】

| | | | | |
|----|-------|----------------------|-------|--------------|
| 1位 | No.97 | Modulo CIVIC TCR | (113) | 3:00' 34.894 |
| 2位 | No.98 | Modulo CIVIC TCR | (113) | 3:01' 22.611 |
| 3位 | No.4 | LIQUI MOLY RS3 LMS | (112) | 3:00' 47.450 |
| 4位 | No.19 | BRP Audi Mie RS3 LMS | (112) | 3:01' 21.341 |



【コメント】

車両トラブルにより思うようにパフォーマンスを発揮する事のできなかった開幕戦もてぎから、1ヵ月も経たずに、第2戦菅生を迎えました。前戦で発生していた燃料系トラブルの対策方法もなんとか、完全ではありませんが対処ができて、菅生戦では燃料系のトラブルは発生せずレースを走る事ができました。

予選ではHONDA勢を抑えてAudiの2台で文字通りワンツー体制を形成して、決勝レース序盤においては、一時は首位を走行して良い流れでレースを展開しましたが、チェッカードライバーの私に交代した後にタイヤマネジメントのミスがあり、レース終盤にタイヤ交換の為にピットイン等、想定外の状況が発生しクラス4位でレースを終えました。レース終盤のレース展開については私のドライバーとしての力が不足していた為に、序盤からの良い流れをそのままゴールに結びつける事ができませんでした。非常に悔しい結果となりましたが、この経験を生かしてドライバーとして進化ができるように全力で努力していきたいと思えます。

チームは2戦目にして更にチーム内のシンクロ率も向上して非常にパフォーマンスも高く、進化を続けておりますので、このまま今季の激闘の経験を重ねながら更に熟成と連携強化を進めていき、ドライバーとスタッフの両面から強いチームに毎戦進化していきますので、是非今後ともご支援・ご声援お願い致します。

BRP代表 奥村浩一



ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2017. 4.29-30



■2017年BRPスーパー耐久プロジェクトパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先: office@brp.gr.com





BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com